

こんにちは！お元気ですか。

マツサカエンジニアリング 24 号を送ります！お楽しみください！

（※お電話頂いた時は・・・お電話有難うございます。

メック（英文名：Matsusaka Engineering Co.,Ltd の頭文字で MEC）です！と応答しますので
宜しく願います）

★ News Topics ★

- [1. MEC 市場情報] 国内で使用されている QP-3Ti 用途とは！
- [2. MEC 海外クレーム] ポンプに使用する流体にはご注意を！
- [3. MEC 時事ニュース] 国際輸送が激変してるの！???
- [4. MEC 面白情報] 製造工程での面白話
- [5. MEC 緊急時設備] 緊急時のガス発電機 使用方法
- [6. MEC 経理部発信] 縁の下の力持ち??
- [7. MEC 四方山話] 2022 年 MEC オリジナルカレンダー

☆☆—————★☆☆

TOP NEWS 当社おすすめ商品・イチ押し商品をピックアップ

☆☆—————☆☆

●いざ！ QP-3Ti 見参！

皆さん、本年 5 月号のメルマガに「アメリカミネソタ州の養牛農家さんからの連絡」という題目で QP-3Ti に
関する記事が掲載されたのは覚えておられますか??

（バックナンバーです！↓）

http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/05/3Ti_Automatic-water-supply_1.pdf

もう一度説明させて頂くと、この製品はエンジンポンプでありながら、標準装備の“フロートスイッチ”を連動させることにより
設置場所の水位を感知してなんと！自動排水/自動停止（繰り返し）するという夢のような製品です。

この製品の開発にあたっては当社技術部全員が出血多量で全滅するほど血を流し、苦勞に苦勞を重ね世の中に
生み出したにもかかわらず、それなのに国内でその用途開発ができず（国内営業部俯く…笑）非常に苦戦している
製品です。しかしこの度、長年お世話になっている九州の販売店様を通じ某地方自治体さんに採用され納入が完了
しました。用途は「豪雨による異常増水時の排水用途」です。今迄、ある特定の場所で長時間豪雨が続きと市が管理
している公園の側溝が溢れだし、その地域にある工場が冠水してしまうという現場です。電気設備がなく、且つ、都度
エンジンポンプの操作することが困難なこの現場、まさに QP-3Ti の得意とする「無人自動排水」の威力が発揮されます。

（現場イメージ動画↓）

www.qp-pump.com/qp_promo/qp-3ti_anime/01.html

この日本には同じような「困った」現場、絶対あると思っているのですが！是非、皆さんの周りでピンとくるような現場
ありませんか？ 国内営業部に愛の手を!!

【QP-3Ti カタログはこちら↓】

[WD SHG1405 \(qp-pump.com\)](http://www.wdshg1405.jp)

（記：営業部 輪嶋）

☆★—————★☆☆

MEC 技術部発信：ポンプに使用する流体にはご注意を！

—————☆☆

MEC ポンプは清水用ポンプとして皆様に広くご利用いただいておりますが、なぜ清水用なのか、薬液など化学溶液の使用をご遠慮頂いている理由を今回は実例とともに紹介したいと思います。

先日、海外のあるお客様から

「MEC ポンプを1ヶ月しか使用していないのにポンプケースに穴が開いた！」との問合せがありました。

話だけを聞く限り、「ポンプに石など何か硬い異物が混入したのか？」ということを想像しましたが、急いで不具合機を確認したところ・・・驚愕しました。

開いた穴は想像以上に大きく、ケーシング全体が痩せこけているではありませんか！

痩せこけて骨粗鬆症のように脆くなり、開いた穴は粉碎骨折したような状態です。

そしてポンプケースは全体的に黒く変色しており、表面は異常な程に白い結晶が析出している・・・

原因の正体は、消防用に使用するために消火剤でした。

MEC のポンプケースはアルミ製がほとんどです。鉄は酸に溶けてアルカリには溶けないので金属に対して「アルカリ性は安全」といったイメージが広く定着していると思います。

しかし、アルミは両性金属と呼ばれ、どちらにも反応してしまいます。

アルミ缶の中にアルカリ洗剤を入れていたら破裂した、というニュースも過去にはありました。

このように、化学反応は想像以上に製品へダメージを与えることもあるのです。

海外からはディーゼル燃料を移送できないか？といった問合せがあつたりしますが、残念ながらあらゆる流体を1台で移送できる万能なポンプは世の中にはありません。

やはり、用途に合った製品を正しく選択する、ということが大切かと思えます。

MEC ポンプは基本的には清水用とはいえ、揚程・吐出量・搭載エンジンなど多種多様なモデルを揃えていますので、是非用途に合ったポンプをご用命ください。

(実際の部品写真はこちら↓)

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/11/casing-picture.pdf>

(記：技術部 眞弓)

☆★—————★☆☆

コロナ禍での国際輸送について

—————☆☆

「ひゃあ～、困った！生産しても船積みできない！」

私たちの日常は新型コロナによって180度変わってしまいましたが、海上輸送の面でもとんでもない事になっているのをご存知でしょうか。

海上運賃は6～7倍に高騰し(向け地によっては10倍近く!)、従来20万で船積みできたところが、今は120万! 増えて良いのはソコジャナイヨ(>_<) さらに世界的なコンテナ不足で冒頭の言葉を何度つぶやいたか・・・

なんでそんな事になってるの?

新型コロナ感染拡大によって昨年の春頃は海上輸送はガクンと減っていましたが、その後 コロナ禍よりいち早くV字回復した中国の輸出と欧米の巣ごもり需要が急拡大したため、欧米向けの輸送量が急激に増えました。問題は何かと言うと コンテナの滞留！
欧米の場合、船が港に着いてからが長い。船からおろしたコンテナを内陸までトラックや鉄道で運ぶのでなかなか港に戻ってこなく、世界中でコンテナの回転率が著しく低下。
その上、コロナ禍で荷役作業が滞り、港湾機能も大混乱、コンテナ船の運航遅延が各港湾で続いており、コンテナ不足と海上運賃の高騰は続き、一部では なんとなんと 10 倍の運賃！

そして じわりじわりと私たちの食卓にも影響が・・・

中国からアメリカの海上輸送は約 2 週間。平時だったら中国からアメリカに輸出し、帰りは大豆を積んで日本で降ろして再び中国に戻るところ欧米のクリスマス商戦に間に合わすため アメリカから戻る時は日本をすっ飛ばして 何にも積まずに空のコンテナで中国まで戻る・・・ アメリカ⇄中国を行き来している状況です。

大豆の輸入量が減り、コンテナ運賃の急騰が転嫁されて輸送コストもアップし、原材料が長期的に上昇・・・

私のだーい好きな 納豆やお豆腐の値上げの動きもあり、遠い話ではないと感じています。

(記：営業部 笹川)

☆☆—————☆☆

●MEC 工場内での面白話

—————☆☆

伊勢の神々しい山々から先客万来！

水と緑にこだわる弊社は自然豊かな三重県に工場を構えています。所在は「多気郡」です。現在の三重県の大半で有った大國、伊勢 13 郡の一つです。

歴史の中でこの地方に係った主なる人々には、伊勢平氏、鎌倉時代には北条一族の金沢氏、南北朝・室町は北畠氏・戦国時代は織田信長そして江戸時代は藤堂高虎等が一般的には知られています。

そして多気郡は伊勢神宮をささえる大きな役割を担った「神三郡」の一つと云われていますので「色々な万物の神々」が工場を取り巻き、また工場に出入りしているのかもしれませんが。今年も季節ごとに、色んな生き物が遊びに来てくれました。

①【ハト】

未確認飛行物体襲来！

工場はハトの通り道！工場を凄いスピードで抜けて行きます。近道をしているのでしょうか？

②【イノシシ】

工場裏手の社員駐車場は山に面し、夜な夜なイノシシたちのレストランに！ たまに早く夕方来店したイノシシに遭遇する事も！

※①②の写真 ↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/11/doveboard.pdf>

③【ツバメ】

工場は天井が約 10m と高く、安全に巣作りができます。

QP ポンプもツバメの様に、工場生まれ巣立ち国内外へ広く羽ばたいて行くのです。

④【ネコ】

工場に迷い込んだネコに餌をあげていると、いつのまにか住みつようになりそのネコが出産！

ネコのファミリーとして社員みんなが可愛がり、キューピーという名前が付けられ弊社の可愛い招きネコとなってくれました。

※③④の写真 ↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/11/catswallow.pdf>

⑤ 【ムカデ】

中には困った住人も・・・部材のパレットに大きなムカデが出現！！

女性社員の悲鳴が聞こえ生産ラインがストップした事も。

⑥ 【青大将（ヘビ）】

工場内のパレットの奥から鋭い眼差しを感じ覗き込むと太さは女性の手首ほど、長さは1mを超える青大将がとぐろを巻いていました。

周りの社員が後ずさりする中、一人のベテラン社員が素早い動きで素手でしっぽを掴むと、ブンブン振り回し遠くの方へ放り投げ見事に退治！！折角寄ってくれた八百万の神様の一人でメックの守り神だったかも知れず、みんなドキッとし、あっけにとられた出来事でした。

※⑤⑥の写真 ↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/11/snakecentipede.pdf>

⑦ 【蟹】

大分、工場も寒さを感じる様になりました。先日、雨が降った日に、工場内のエンジン置場で道に迷っている「蟹」を見ました。

おそらく、最寄の小川から上がって迷い込んだのだと思いますが…国生みの祖神イザナギ(伊弉諾尊)、山の神

おおやまつみのみこと(大山津見命)、富士山の神 このはなさくやびめ(木花咲耶姫命)の三神を祀る尾張多賀神社。

蟹が神さまのお使いで登場する場所として尾張多賀神社が知られています。登場した蟹は恐らくそこから旅してきたものと思われる。結構な距離があり蟹の移動速度で、よぞ無事にここまで来れたなと思いました。

尚、この神様は丁重にお守りし、尾張多賀神社に帰るように逃がしてあげました。

※⑦の写真 ↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/11/CRAB.pdf>

(記：製造部 松本)

☆☆—————★☆☆

●MEC 緊急時設備の紹介：緊急時のガス発電機 使用方法

—————☆☆

【緊急時用 プロパンガス発電機を紹介します】

近代、自然災害などが発生するリスクが高まり家庭においては食料備蓄、緊急用品など防災グッズを備えを怠らないように国や地方自治体が呼びかけていますね。

災害による緊急事態は勤務中に突然やってくるかも知れません。

弊社では電力供給が途絶えた時の備えとして、ガスエンジン発電機を設置しました。

燃料はプロパンガスなので保管が楽であり劣化することもなく、しかも10キロボンベで10時間以上の運転が可能です。

出力2.2kVAの発電機は配電盤を介して事務所LED照明業務処理オフィスコンピューターと通信機器の電源確保、そして非常時専用コンセントに供給されます。

これで一安心とはなりません、誰でも使える様に操作訓練が必要です。

そこでマニュアルを作成して取扱い講習会を実施し、配管から配電盤の切り替え、実機運転も行い本番さながらの訓練

となりました。定期的な訓練とメンテナンスを怠らずいざという時に活躍してもらいます。

とは言っても、この発電機を使う事態が起こらない様に願いたいです。

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/11/PROPANE-GAS-ELECTRIC-GENERATOR.pdf>

(記：技術部 辻本)

☆☆—————★☆☆

●MEC 経理部発信： 縁の下の力持ちだけじゃないのです！

—————☆☆

私たち『総務経理部』は、社内唯一の女性ばかりの部署です。

MEC の顔と言っても過言ではない福沢専務の下、本社 1 名・多気工場 3 名、お局さまからフレッシュウーマンまで皆それぞれの経験・性格を活かしながら日々業務に勤しんでおります。

私たちの仕事は、一般的な経理業務から衛生管理・労務管理等、多岐に渡ります。

昨年からはコロナ対策にも取り組み、社員の健康を死守し続けるゴールキーパーとしても頑張っています。

やまとなでしこの私たち、奥ゆかしさが邪魔をして なかなか MEC のエースストライカーにはなれませんがさり気なく切れ味鋭いスルーパス出す名ミッドフィルダーのような存在であろう！と意識は高く持っております。

他部門と兼任で業務を行う者もあり、自分達で言うのもなんですが、私たち意外と優秀なんです！

そんな『縁の下の力持ち』的存在だけでは収まりきれない 4 人、普段は外部の方と直接お目にかかる機会がありませんのでこの場をお借りして部員紹介をさせていただきます。お見知り置きください！！

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/11/accounting.pdf>

(記：総務経理部 高橋)

☆☆—————★☆☆

●2022 年 MEC オリジナルカレンダーとは・・・？

—————☆☆

来年度 MEC カレンダーを今年も製作する事になりました！

掲載している写真は、もちろん MEC 社員が撮影したものです。

コロナ禍で外出する機会が減ってしまい、全てが今年撮影した写真ではありませんが社内公募した所 150 枚以上の写真が集まりました。

一枚でも多くの写真を皆さんにお届けしたかったので、カレンダーに使用した写真数は、50 枚！！（カレンダーの表紙にも拘って作成しましたので、是非ご注目頂けると嬉しいです）

毎年製作する上で感じておりますが、まだ色んな素敵写真もあったのですが、全て掲載出来ず残念です。

さて、2022 年度 MEC カレンダーの注目ポイントは、[何処で撮った写真なのか知りたいなぁ！]というご要望を過去頂いた事もあったので、カレンダーの右下に撮影者名と一緒に撮影場所も掲載しています。

また、各月にも四季を感じる工夫をちょこっと入れています。

しっかりと感染対策を行いながら ふらりとカレンダー写真スポットに出かけてみてはいかがでしょうか！

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/11/CALENDAR-COMMENT.pdf>

(記：営業部 長谷川)

では、今日はここまで！！

最後までお付き合いいただき、誠に有難うございました。

また、次回も宜しくお願い申し上げます。



○メール配信停止をご希望の方はこちらまでご連絡ください。

(配信停止以外のお問い合わせは、担当営業までお願い致します)

hasegawa@qp-pump.com

○配信元：株式会社マツサカエンジニアリング

<http://www.qp-pump.com/>

東京本社

東京都千代田区神田松永町 2 3 番

TEL：03-3257-6130

FAX：03-3257-6129

工場

三重県多気郡多気町野中 2 1 5 5

TEL：0598-39-3211

FAX：0598-39-3131

発行/(株)マツサカエンジニアリング 営業部

